

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成30年11月27日（火）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

<本日の報告事項>

司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

大熊総務課長 それでは、お手元の広報日程に基づきまして、補足説明をさせていただきます。

まず、1ページ目、1.(1)第44回原子力規制委員会定例会が、明日11月28日水曜日午前中に開催される予定でございます。議題は4件予定されております。

まず、議題1「特定復興再生拠点における放射線防護対策に関する骨子案及び調査結果について」。こちらは内閣府原子力災害対策本部原子力被災者生活支援チームから、出席があり、報告がなされるという議題でございます。

内容は、帰還困難区域における特定復興再生拠点区域に関しまして、今後想定されます立入規制の緩和、あるいは避難指示解除に向けた放射線防護対策につきまして、政府として検討してこられた案の骨子及び関連する調査結果につきまして説明があると。説明がなされ、意見が求められるということでございます。

次に、議題2「原子力発電所の竜巻影響評価ガイドの一部改正案の制定等について」。こちらは竜巻影響評価ガイドの改正案につきまして、10月10日の委員会で審議が行われまして、その後、意見募集、パブリックコメントが行われてきたところでございます。その結果を踏まえましてガイドの一部改正を行うことにつき、委員会の決定を求めるというものでございます。

次に、議題3「近接の原子力施設からの影響に係る審査について（第3回）」。こちらは、本件問題につきまして、本年9月26日に委員会において議論が行われ、その場におきまして事業者との意見交換を行うようにという指示があったところでございます。その結果を踏まえまして、改めて委員会に御報告し、お諮りをするというものでございます。

最後に、議題4「政策評価懇談会の開催要領について」。こちらの内容でございますが、政策評価懇談会、こちらを毎年開催してきているところでございますが、今般、その開催の趣旨等について改めて明確化をするという趣旨で、開催要領を定めることといたしまして、その案について、委員会にお諮りをするというものでございます。

次に、広報日程の2.(3)、1ページ目の下段でございます。11月29日木曜日、第655

回の審査会合の開催が予定されております。審査会合の議題、審査の対象としては、現時点で4件予定されてございます。

まず、1件目といたしまして、東北電力・女川発電所2号機についての新規規制基準適合性の審査が行われる予定でございます。内容は、建築物の耐震性の評価につきまして、コメント回答が行われる予定でございます。

次に、2件目といたしまして、九州電力・川内原子力発電所1号機、2号機及び玄海発電所3号機、4号機についての設置変更許可申請に係る審査が行われる予定です。こちらの内容は、柏崎刈羽発電所の審査を通じた技術的知見の反映ということで行われました基準の改正がございました。これに対する対応についての申請がございまして、それについての審査ということでございます。

次に、3件目といたしまして、関西電力・大飯発電所3号機、4号機、こちらの設置変更許可申請に係る審査が予定されております。こちらの内容は、緊急時対策所の移設についての審査が予定されておまして、前回に引き続いてのコメント回答の予定でございます。

最後に、4件目といたしまして、東京電力・柏崎刈羽発電所の保安規定の変更に係る審査を行う予定でございます。こちらは先般11月20日に、組織の変更、具体的には原子力事業の社内カンパニー化に伴う保安規定の変更の申請がございました。こちらにつきまして、概要についての説明をお聞きし、議論が行われるという予定でございます。

次に、広報日程2ページ目については、特に追加の情報はございません。

3ページ目上段、(8)第657回の審査会合についてでございます。議題は、記載されておりますとおり、日本原子力発電・敦賀発電所の敷地の地質・地質構造についての審査が行われる予定でございます。内容といたしましては、前回の議論を踏まえまして、敷地の地質・地質構造について、改めて全体的な説明をお聞きするという予定でございます。

次に、その下、12月3日月曜日、(10)第2回核燃料サイクル工学研究所の核燃料物質使用変更許可申請に係る審査会合、こちらの開催が予定されております。議題は、記載のとおり、プルトニウム燃料第三開発室等の核燃料物質使用変更に係る申請について、こちらについての審査が行われる予定でございます。

こちらの内容でございます。こちらは、もんじゅの燃料体と同様の形状の保管体をつくり保管すると、こういう申請があり、委員会にも報告をした上で審査会合にて審査が行われているものでございまして、先般10月上旬に第1回の審査会合で全般の方針について説明を伺ったところであります。それを踏まえて、先般11月中旬に補正が提出されておりますので、その内容について、今回の審査会合で確認を行うということが予定されております。

私からの御説明は以上です。

< 質疑応答 >

司会 それでは、皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問の方をお願いいたします。

それでは、質問のある方は手を挙げてください。ヨシノさん。

記者 テレビ朝日、ヨシノです。

あしたの議題1ですけれども、骨子案はいいのですけれども、調査結果というのは、特定復興再生拠点等を調査してきた、例えばそういうことの中身ということなのでしょうか。

大熊総務課長 今、伺っているところのポイントということでございますけれども、この拠点に関しまして、空間線量率に関する詳細なモニタリングとか、被ばく線量の推計など、何点か調査を行ってこられていると。その内容について、報告をいただくということでございます。

記者 分かったらいいのですけれども、そうすると、再生拠点について、満遍なく調査をされてきた結果というふうに考えてよろしいでしょうか。

大熊総務課長 済みません。ちょっと調査の内容の詳細が、今、手元にございません。広く調査をされていると思いますが、その範囲、内容については、あしたお聞きいただければと思います。

司会 ほか、ございますでしょうか。よろしいですか。マルヤマさん、どうぞ。

記者 TBSのマルヤマですが、30日金曜日の(7)の議題1というのは、もう少し説明していただいてもいいですか。リサイクル燃料貯蔵。

大熊総務課長 少々お待ちください。今、御質問いただいたのは、30日金曜日の250回の核燃料施設等の審査会合でございますね。こちらは前回のプリーフィングのときに少しお話をしたので、省略をしてしまいましたけれども、こちらは記載されておりますリサイクル燃料備蓄センター使用済燃料貯蔵施設についての審査であります。

こちらは、前回、まとめの会合ということがあったということでもありますけれども、地震等に関する部分のまとめの会合ですが、そこで火山の関係についてコメントがあったということで、その部分についてのコメント回答が行われる予定ということでございます。

司会 ほか、ございますか。よろしいでしょうか。

それでは、本日の会見は以上としたいと思います。お疲れさまでした。

- 了 -